

平成24年度「学ぶ土台づくり」推進計画 県関連事業集

【資料1】

目標1 親子間の愛着形成の促進

施策1 親子のかかわりの促進(重点事項)

◎：宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画における「宮城の将来ビジョン推進事業」
 [震災]：宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画における「宮城震災復興推進事業」

区分	事業名	事業概要	H23	H24	H25	H24当初 予算額 (千円)	担当課室
組替 新規23	◎ [震災] 学ぶ土台づくり普及啓発事業	・震災により幼児期の多くの子どもが心のケアを必要とする状況となり、「親子間の愛着形成」が平時以上に欠かせない状況となったことから、その重要性について啓発等を行うとともに、親育ちの視点から、これから親になる世代に対して、親になることの意義等について意識啓発を行う。また、関係機関が連携して子どもの育ちを支えるための体制づくりを行う。 ※H22「学ぶ土台づくり」推進プログラム策定事業の組み替え	→	→	→	11,916	教育企画室
	市町村子どもの読書活動支援事業	・「第二次みやぎ子ども読書活動推進計画」の推進を図るため、読み聞かせボランティア養成講座や子どもたちに本の魅力を伝える「ブックトーク」の実践に関する講座を開催する。	→	→	→	511	生涯学習課
	中小企業ワーク・ライフ・バランス支援事業(再掲)	・仕事と生活の調和のとれた労働環境を整備するため、中小企業を対象とした講習会の開催や専門アドバイザーの派遣を行う。	→	→	→	559	雇用対策課
	「家庭の日」普及啓発事業	・毎月第3日曜日を「家庭の日」と定め、明るい家庭づくり運動を推進する。 ・小・中・高校生を対象に「家庭の日」にちなんだ絵画・ポスター部門、一般の方や家族の方々を対象に川柳部門の募集を行い、「家庭の日」の普及・啓発をする。	→	→	→	60	共同参画社会推進課
新規23	◎ 「女性のチカラは企業の力」普及推進事業(再掲)	・ポジティブ・アクションやワークライフバランスに関する普及啓発と企業間の情報交換の場を提供するため「女性のチカラは企業の力」普及推進シンポジウム及び地域ワークショップを開催する。また、「女性のチカラを活かす企業認証制度」により、職場における男女共同参画を推進し、特に優れた取組を実施している企業を表彰する。	→	→	→	688	共同参画社会推進課

施策2 親の育ちを支援する環境づくり

区分	事業名	事業概要	H23	H24	H25	H24当初 予算額 (千円)	担当課室
組替 新規23	◎ [震災] 学ぶ土台づくり普及啓発事業(再掲)	・震災により幼児期の多くの子どもが心のケアを必要とする状況となり、「親子間の愛着形成」が平時以上に欠かせない状況となったことから、その重要性について啓発等を行うとともに、親育ちの視点から、これから親になる世代に対して、親になることの意義等について意識啓発を行う。また、関係機関が連携して子どもの育ちを支えるための体制づくりを行う。 ※H22「学ぶ土台づくり」推進プログラム策定事業の組み替え	→	→	→	11,916	教育企画室
組替 新規23	◎ [震災] 協働教育推進総合事業	・家庭・地域・学校が協働して子どもを育てる仕組みづくりを推進し、家庭・地域の教育力の向上を図る。 「協働教育基盤形成事業」「協働教育普及・振興事業」「教育応援団事業」「協働教育プラットフォーム事業」 ※H22 協働教育振興事業の組み替え	→	→	→	161,469	生涯学習課
新規23	◎ [震災] 子育て支援を進める県民運動推進事業	地域社会全体で子育てを応援する機運を醸成するため、団体、個人、企業等の県民総参加による「県民運動」を推進する。 ・みやぎっこ応援隊「すくすくエールズ」の募集活動 ・子育て支援ポータルサイト「すくすくタウン宮城」による情報提供 ・みやぎっこ応援カード事業の拡充 ・子育ての“絆”シンポジウムの開催等	→	→	→	30,000	子育て支援課
	◎ [震災] 次世代育成支援対策事業	・「新みやぎ子どもの幸福計画」(後期計画)の推進にあたり、「次世代育成支援対策地域協議会」を開催し進捗管理を行う。	→	→	→	367	子育て支援課
新規23	地域子育て支援センター事業	・地域において、子育て親子が交流する場所を開設し、子育て相談、子育て関連情報の提供、助言その他の援助を行うなど、地域の子育て全般に関する専門的な支援活動を行う。	→	→	→	(子育て支援交付金)	子育て支援課
新規23	◎ 「女性のチカラは企業の力」普及推進事業(再掲)	・ポジティブ・アクションやワークライフバランスに関する普及啓発と企業間の情報交換の場を提供するため「女性のチカラは企業の力」普及推進シンポジウム及び地域ワークショップを開催する。また、「女性のチカラを活かす企業認証制度」により、職場における男女共同参画を推進し、特に優れた取組を実施している企業を表彰する。	→	→	→	688	共同参画社会推進課

目標2 基本的生活習慣の確立

施策3 社会総がかりの取組による基本的生活習慣の確立(重点事項)

区分	事業名	事業概要	H23	H24	H25	H24当初 予算額 (千円)	担当課室
◎ [震災]	基本的生活習慣定着促進事業	・震災以降、子どもたちの生活リズムが不規則になりがちであり、規則正しい食習慣や外遊びなどの重要性がますます高まっていることから、みやぎっ子ルルブル推進会議の設立趣旨に賛同する企業・団体と連携し、社会総がかりで、幼児児童生徒の基本的生活習慣の定着を図る。 ・科学的アプローチに基づいたパンフレットを作成する。	→			2,620	教育企画室
◎	はやね・はやおき・あさごはん推奨運動 【非予算的手法】	・「はやね・はやおき・あさごはん」といった基本的生活習慣の定着を広く呼びかけ、子どもの生活リズム向上を図る普及活動を行う。	→			0	総務課 教育企画室 義務教育課 スポーツ健康課 生涯学習課
◎	みやぎの食育推進戦略事業(再掲)	「第2期宮城県食育推進プラン」に基づき、県民が食や健康に関する正しい知識や望ましい食習慣を身につけ、健全な食生活を実践できるよう食育の普及啓発を行う。 ・食育コーディネーターによる食育実践の支援 ・イベント等を通じた普及啓発	→			3,051	健康推進課
◎ [震災]	食育・地産地消推進事業(再掲)	・県産農林水産物への理解向上を図るため、地産地消の取組を全県的に推進する。 ・宮城の「食」に関して情報発信を行う人材を登録・派遣し、地産地消の一層の普及を図る。	→			3,710	食産業振興課

施策4 体力の向上と食育の推進による望ましい食習慣の確立

区分	事業名	事業概要	H23	H24	H25	H24当初 予算額 (千円)	担当課室
◎	みやぎの子ども体力運動能力充実プロジェクト	・子どもの体力・運動能力を向上させるため、子どもの体力運動能力の実態を調査、分析し、向上策を検討する。 ・「みやぎっ子! 元気アップエクササイズ」の活用方法を学ぶ研修会を開催する。	→			1,602	スポーツ健康課
◎ [震災]	基本的生活習慣定着促進事業(再掲)	・震災以降、子どもたちの生活リズムが不規則になりがちであり、規則正しい食習慣や外遊びなどの重要性がますます高まっていることから、みやぎっ子ルルブル推進会議の設立趣旨に賛同する企業・団体と連携し、社会総がかりで、幼児児童生徒の基本的生活習慣の定着を図る。 ・科学的アプローチに基づいたパンフレットを作成する。	→			2,620	教育企画室
◎	みやぎの食育推進戦略事業	「第2期宮城県食育推進プラン」に基づき、県民が食や健康に関する正しい知識や望ましい食習慣を身につけ、健全な食生活を実践できるよう食育の普及啓発を行う。 ・食育コーディネーターによる食育実践の支援 ・イベント等を通じた普及啓発	→			3,051	健康推進課
◎ [震災]	食育・地産地消推進事業	・県産農林水産物への理解向上を図るため、地産地消の取組を全県的に推進する。 ・宮城の「食」に関して情報発信を行う人材を登録・派遣し、地産地消の一層の普及を図る。	→			3,710	食産業振興課

施策5 ワーク・ライフ・バランスの促進

区分	事業名	事業概要	H23	H24	H25	H24当初 予算額 (千円)	担当課室
組替 新規23	◎ [震災] 協働教育推進総合 事業(再掲)	・家庭・地域・学校が協働して子どもを育てる仕組みづくりを 推進し、家庭・地域の教育力の向上を図る。 「協働教育基盤形成事業」「協働教育普及・振興事業」「教育 応援団事業」「協働教育プラットフォーム事業」 ※H22 協働教育振興事業の組み替え				161,469	生涯学習 課
	中小企業ワーク・ ライフ・バランス 支援事業	・仕事と生活の調和のとれた労働環境を整備するため、中小企 業を対象とした講習会の開催や専門アドバイザーの派遣を行う。				559	雇用対策 課
	◎ [震災] 「仕事」と「家 庭」両立支援事業	・労働者の仕事と家庭の両立を支援するため、子育てを援助する 「ファミリー・サポート・センター」の市町村設置の促進や普 及啓発を行う。				1,871	雇用対策 課
新規23	◎ 「女性のチカラは 企業の力」普及推 進事業	・ポジティブ・アクションやワークライフバランスに関する普 及啓発と企業間の情報交換の場を提供するため「女性のチカラ は企業の力」普及推進シンポジウム及び地域ワークショップを 開催する。また、「女性のチカラを活かす企業認証制度」によ り、職場における男女共同参画を推進し、特に優れた取組を実 施している企業を表彰する。				688	共同参画 社会推進 課
新規23	子育てにやさしい 企業支援事業	・「女性のチカラは企業の力」普及推進事業と連携して、従業 員の子育て支援に積極的に取り組んでいる企業を「いきいき男 女・にこにこ子育て応援企業」として表彰する。				512	子育て支 援課

目標3 豊かな体験活動による学びの促進

施策6 人とかかわる体験の充実(重点事項)

区分	事業名	事業概要	H23	H24	H25	H24当初 予算額 (千円)	担当課室
組替 新規23	◎ [震災] 協働教育推進総合 事業(再掲)	・家庭・地域・学校が協働して子どもを育てる仕組みづくりを 推進し、家庭・地域の教育力の向上を図る。 「協働教育基盤形成事業」「協働教育普及・振興事業」「教育 応援団事業」「協働教育プラットフォーム事業」 ※H22 協働教育振興事業の組み替え				161,469	生涯学習 課
	◎ [震災] 豊かな体験活動推 進事業 【非予算的手法】	・震災により地域とのつながりの重要性が再認識されているこ とから、児童生徒の豊かな人間性や社会性を育むために、小中 学生の民泊による体験学習「子ども農山漁村交流プロジェク ト」と連携し、成長段階に応じて社会奉仕体験や自然体験など の促進を図る。				0	義務教育 課
	◎ グリーン・ツーリ ズム促進支援事業	・グリーン・ツーリズム関連事業の実施団体への人材派遣によ る現地指導等により、「子ども農山漁村交流プロジェクト」を 含む多様な交流体験活動の一層の推進を図る。				5,332	農村振興 課
	児童健全育成事業	・健全な遊びを通して、児童の健康増進と豊かな情操などを目 的に各種健全育成事業を推進するとともに、市町村健全育成活 動を支援する。 ・行政職員、関係機関職員等を対象とした研修を行い、児童福 祉を担う人材の資質の向上及び専門性の向上を図る。				2,142	子育て支 援課

施策7 遊びの環境づくり

区分	事業名	事業概要	H23	H24	H25	H24当初 予算額 (千円)	担当課室
新規24	[震災] 公民館等を核とし た地域活動支援事 業	・公民館等を核として住民による自主・自立の震災復興機運を 醸成するため、市町村が実施する新たなコミュニティづくりを 促進する事業に対して補助を行うとともに、コミュニティづく りに関する研修会を実施する。				91	生涯学習 課

目標 4 幼児教育の充実のための環境づくり

施策 8 幼・保・小の連携と小学校への円滑な接続(重点事項)

区分	事業名	事業概要	H23	H24	H25	H24当初 予算額 (千円)	担当課室
新規23 [震災]	◎ 幼・保・小連携推進事業	・震災により、子どもの生活環境や学習環境が大きく変化したことから、その変化に対応するためにも保育士・教諭の合同研修会を開催し、子どもの発達を長期的な視野で捉えとともに、それぞれの教育内容や指導方法について相互理解を図ることにより幼児教育等の充実を図る。 ・幼・保・小連携合同研修会 ・幼・保・小連携推進地区指定				2,000	義務教育課
	保育士研修事業費	・現任保育士に対する研修を実施する。				9,717	子育て支援課
	◎ 幼稚園等新規採用教員研修事業【教職員CUP事業】	・公立の幼稚園等の新任教員を対象とした研修を実施し、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を習得させ、幼稚園等の教育水準の維持向上を図る。				6,085	教職員課
	◎ 10年経験者研修事業【教職員CUP事業】	・幼稚園、小・中・高等学校及び特別支援学校の10年経過教員を対象として1年間の研修を実施し、学級担任・教科担任等としての経験を踏まえた特に教科指導力と生徒指導力について広い視野に立った力量を高める。				12,434	教職員課

施策 9 特別支援教育の推進と理解の促進(重点事項)

区分	事業名	事業概要	H23	H24	H25	H24当初 予算額 (千円)	担当課室
新規23	◎ 発達障害早期支援事業	・発達障害の疑いがあると判定された幼児の保護者に向け、市町村を通じて「すこやかファイル」を送付する。 ・モデル地域において「(障害のある)我が子とどのように向き合っていけばよいか」という観点で「発達障害理解研修会」を開催する。				1,000	特別支援教育室
	◎ 特別支援教育地域支援推進事業	・障害のある幼児、児童生徒が在籍する幼稚園、小・中学校、高等学校に対し、県立特別支援学校が訪問指導や相談対応、研修会等を実施し、支援を行う。				699	特別支援教育室
	特別支援教育センター教育相談事業費	・障害及び発達の遅れや偏りがあると思われる幼児・児童・生徒の障害等の実態に応じた教育や、指導上の問題についての相談事業を行う。				1,652	特別支援教育室
新規23	乳幼児精神発達精密検診及び事後指導事業	・母子保健法に基づき市町村が実施する健康診査で、発達の遅れ等が懸念される乳幼児を対象に精密健康診査を行い、早期療育の体制を整えるとともに、育児不安等を抱える親を専門的に支援する。				8,286	子育て支援課
	心身障害児等発達支援事業	・心身の発達に遅れ等が懸念される子どもを早期に発見し、発達相談及び発達訓練指導等を実施することにより、児童の生活の質を高め、保護者への育児支援を行う。 ・関係者(施設職員、学校職員等)との連携を図り、保健・医療・福祉及び教育のネットワークを構築する。				1,569	子育て支援課
	◎ 子どもメンタルサポート事業	・児童精神科医により心の問題を有する児童やその家族に専門的なケアを行う。 ・子どもの状態に応じた社会適応訓練を提供する。 ・学校不適応となった児童生徒の復学や社会的自立を支援する。				10,730	子育て支援課
	◎ 発達障害者支援センター事業	・発達障害者支援センター「えくぼ」を設置し、発達障害児(者)及びその家族に対する相談支援、発達支援、就労支援のほか、関係施設及び関係機関等に対する普及啓発、研修等を実施する。				24,000	障害福祉課
	◎ 障害児(者)相談支援事業	・市町村の障害者相談支援事業と連携して相談員を配置し障害児等及びその家族が相談・指導を受けられる体制を整備する。 ・市町村障害者相談支援事業の委託を受ける指定相談支援事業者の相談員等を対象とした研修会の開催等を行う。				58,670	障害福祉課
組替 新規23	◎ [震災] 学ぶ土台づくり普及啓発事業(再掲)	・震災により幼児期の多くの子どもが心のケアを必要とする状況となり、「親子間の愛着形成」が平時以上に欠かせない状況となったことから、その重要性について啓発等を行うとともに、親育ちの視点から、これから親になる世代に対して、親になることの意義等について意識啓発を行う。また、関係機関が連携して子どもの育ちを支えるための体制づくりを行う。 ※H22「学ぶ土台づくり」推進プログラム策定事業の組み替え				11,916	教育企画室

施策10 地域における支援体制の充実

区分	事業名	事業概要	H23	H24	H25	H24当初 予算額 (千円)	担当課室
組替 新規23	◎ [震災] 学ぶ土台づくり普及啓発事業（再掲）	・震災により幼児期の多くの子どもが心のケアを必要とする状況となり、「親子間の愛着形成」が平時以上に欠かせない状況となったことから、その重要性について啓発等を行うとともに、親育ちの視点から、これから親になる世代に対して、親になることの意義等について意識啓発を行う。また、関係機関が連携して子どもの育ちを支えるための体制づくりを行う。 ※H22「学ぶ土台づくり」推進プログラム策定事業の組み替え	→			11,916	教育企画室
組替 新規23	◎ [震災] 協働教育推進総合事業（再掲）	・家庭・地域・学校が協働して子どもを育てる仕組みづくりを推進し、家庭・地域の教育力の向上を図る。 「協働教育基盤形成事業」「協働教育普及・振興事業」「教育応援団事業」「協働教育プラットフォーム事業」 ※H22 協働教育振興事業の組み替え	→			161,469	生涯学習課
新規23	地域子育て支援センター事業（再掲）	・地域において、子育て親子が交流する場所を開設し、子育て相談、子育て関連情報の提供、助言その他の援助を行うなど、地域の子育て全般に関する専門的な支援活動を行う。	→			(子育て支援交付金)	子育て支援課